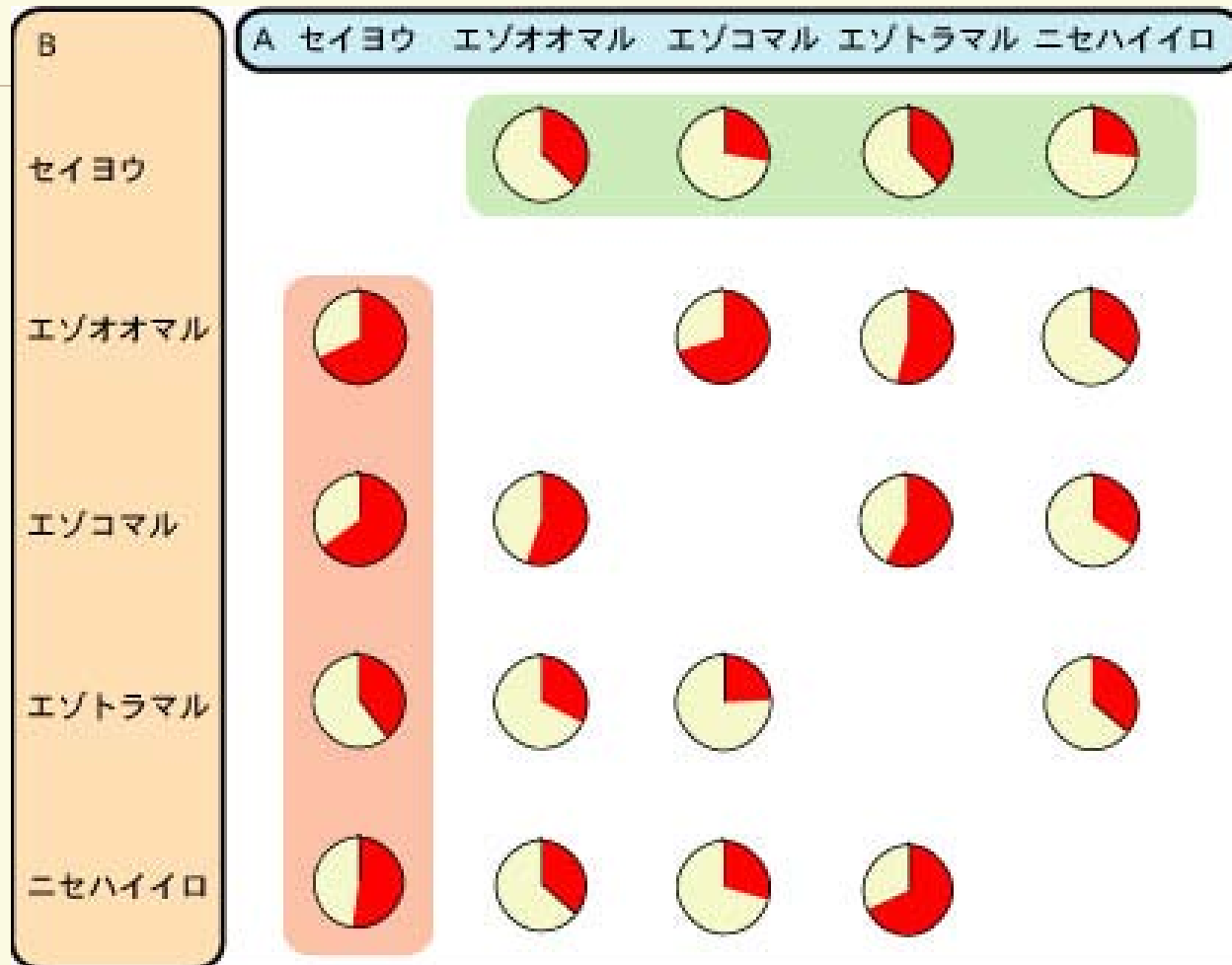


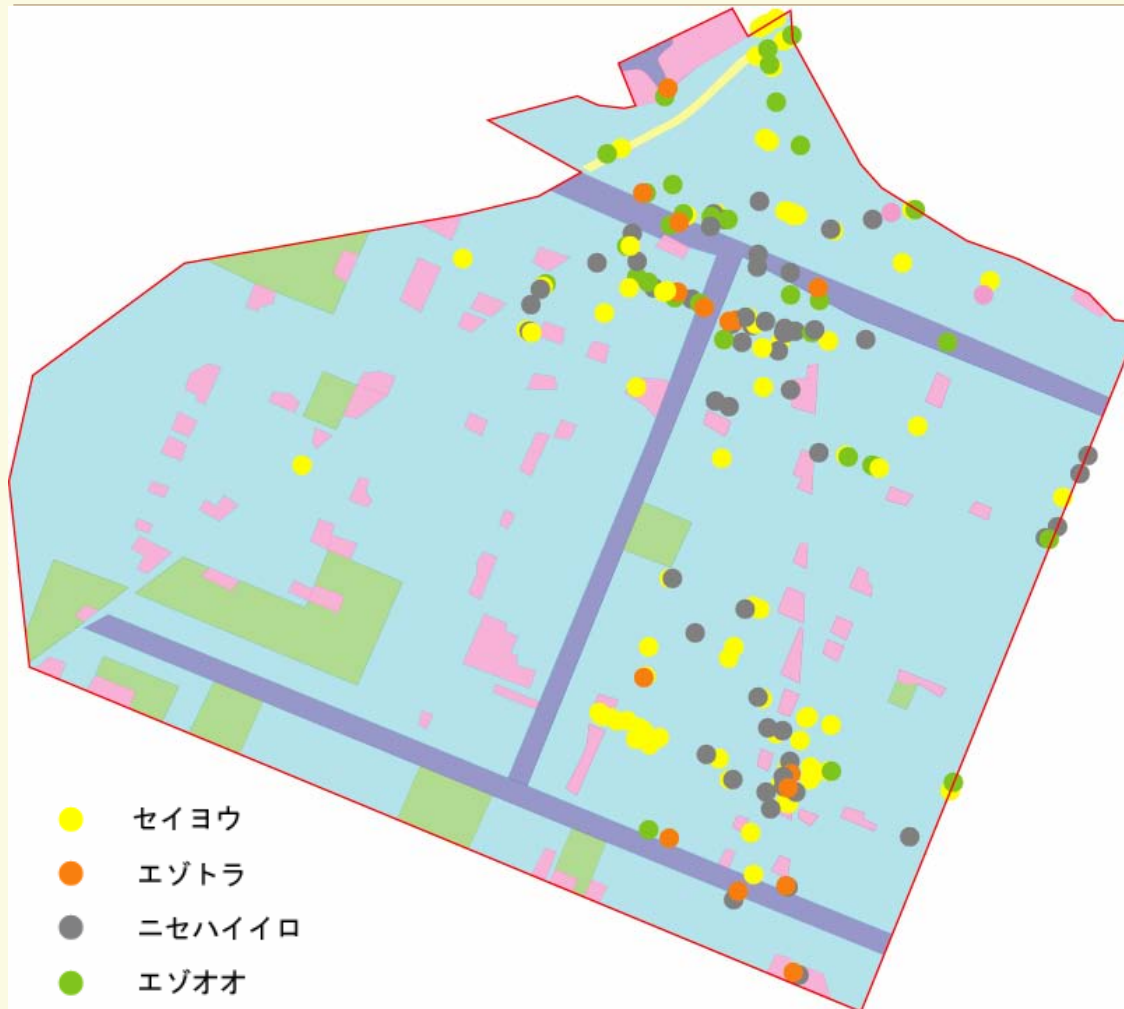
在来マルハナバチ類との花資源を巡る競争

セイヨウオオマルハナバチと在来マルハナバチ類の利用植物の類似度



→在来マルハナバチ類が利用する植物の**約40-70%**は
セイヨウオオマルハナバチにも利用されている。

セイヨウオオマルハナバチと在来マルハナバチ類の 空間分布および資源利用パターンの重なり合いの解析



○同一メッシュ内
○同一調査期間内
○同一訪花植物
を「同じニッチェ」
として解析

マルハナバチ媒花の繁殖への悪影響

北海道門別・平取町でセイヨウオオマルハナバチの盗蜜が
確認された植物

キンポウゲ科

セイヨウオダマキ

ケシ科

エゾエンゴサク

マメ科

クサフジ

ベニバナインゲン (ハナマメ)

インゲンマメ

ムラサキ科

ヒレハリソウ

スイカズラ科

クロミノウグイスカグラ

ツキヌキニンドウ



セイヨウオオマルハナバチの野生化に伴う生態リスク

- (1) 在来マルハナバチ類との競争 (営巣場所, 花資源)
- (2) マルハナバチ媒花の繁殖への悪影響
- (3) 外来寄生生物の随伴移入
マルハナバチポリプダニ、Nosema bombi
- (4) 在来マルハナバチ類との交雑／繁殖攪乱
雑種形成
異種間交尾による繁殖攪乱

まとめ

- 少なくとも北海道では、セイヨウオオマルハナバチの定着は確実であり、特に在来マルハナバチ類と営巣場所や餌資源を巡る競合が強く憂慮される状況にある。
- 多くの在来植物を餌資源として利用し、盗蜜などを通じて直接、あるいは在来マルハナバチ類の衰退を通じて間接的に在来植物の繁殖に影響を与える可能性が懸念される。
- 飼育コロニーからの逸出による随伴寄生生物の伝搬、異種間交尾による在来マルハナバチ類の繁殖の攪乱も懸念される。